

<b>調査視察等の報告書</b>	
年 月 日	
日進市議会議長 小野田利信 様	
議員氏名 大橋ゆうすけ 印	
実施年月日 29年 12月1日～12月2日 (1泊2日)	行き先 福岡県大牟田市
目 的 ユネスコスクール全国大会に参加するため	
報告事項 ※報告事項については、別紙参照	
※別添資料 有	

## 調査視察地等の報告事項

### 第9回ユネスコスクール全国大会の概要

「我が国を最先端の持続可能社会に―ESDのゴールを目指して―」のテーマを掲げた「第9回ユネスコスクール全国大会（持続可能な開発のための教育（ESD）研究大会）」は、福岡県大牟田市の文化会館において開催されました。

平成29年10月現在で1034校がユネスコスクールに登録し活動を行っており、本大会を通じて各学校がこれまでに蓄積してきた活動事例を共有するとともに、教員の知見を共有することで、更なる活動振興に繋がりたいとの思いが込められています。

プログラムでは、池原充洋氏（文部科学省文部科学戦略官）より「今後のESD推進に関する施策説明」が行われ、その後、特別講演、ランチョンセッション、分科会（喫緊の課題とESD）、パネルディスカッション（50年後の社会に向けたESD人材育成）等も行われました。本大会の最後には、第8回ESD大賞表彰式が行われ、福岡県大牟田市立吉野小学校を始め9校が各賞を受賞されました。

### 所感

平成28年12月に発表された中央教育審議会の答申に基づき策定された小中学校の新学習指導要領には、前文及び総則で「持続可能な社会の担い手」の育成が掲げられ、各教科に関連する内容が盛り込まれております。

学校現場におけるESDの推進と取り組みの必要性について、文部科学大臣である林芳正氏は『「持続可能な社会の創り手」となるために必要となる資質や能力を育むためには、新学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や「カリキュラム・マネジメント」の具体的な実践が重要であり、これまでに全国各地のユネスコスクールで取り組まれてきたESDに関する教育実践の蓄積の活用が期待されている』と述べられております。

ユネスコスクールの全国大会以外にも様々な場で各学校の活動状況を伺ってまいりましたが、どの学校においても、試行錯誤を重ねながら一歩ずつ前進をされています。日進市内の各学校においても他校での取り組みを参考にしながら躊躇せずに取り組みを始めることが必要だと改めて感じました。

また、日進市として「ESDの推進」を掲げられている現在、大牟田市のように市長を本部長、教育長を副本部長、各部の部長を推進委員とする「大牟田市ESD推進本部」の設置と「ESD・SDGs専門窓口」の設置を行い、教育現場が動けるようなサポート体制を構築する必要が必要であると考えています。

今後は、尾張教育事務所管内で実践されているユネスコスクールの取り組みを調査すると同時に、管内の議員とも連携を図りながらESDの普及啓発及びユネスコスクールの実施に繋がってまいりたいと考えております。